

SDGs

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

成長につなぐ — 事例17ゴールズ&169ターゲット

37

雪ヶ谷化学工業

雪ヶ谷化学工業(東京都品川区、坂本昇社長)は、スポンジの使用を提案する。材料の開発・製造、販売において、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に配慮する。石油使用量を減らすべく貢献する。フェアトレードに



天然ゴムと合成ゴムを配合した化粧用スポンジ

天然ゴム配合スポンジ提案



作成した「フェアトレード天然ゴムマーク」

よる調達を証明するマークを作り、業界に向けた訴求も始めた。

「日本で流通している天然ゴム製品、全てをフェアトレードにした」。坂本社長は熱意をみせる。ファンデーション塗布などに使う化粧用スポンジが主力の同社は、石油由来の合成ゴム製のスポンジを製造している。近年、石油使用量削減に貢献すべく、天然ゴムを配合したスポンジの使用提案を始めた。

天然ゴムの調達先にはこだわらる。強制労働や児童労働がされず、適正な価格で取引することが明確になっているゴム農園、プラントから調達す

る。現在の調達先はタイのチュラルアートアンドテクノロジ社だ。

さらにフェアトレードで調達した天然ゴムであることを証明する「フェアトレード天然ゴムマーク」を作成した。自社製の天然ゴム製スポンジに表示するほか、賛同する他社にも使用を呼びかける。

坂本社長は「まずはスポンジ業界におけるSDGsの第一人者になりたい。ファンが増えれば顧客も増えるはず」と笑顔をみせる。

また、ラテックスアレルギーを持つ人も天然ゴム製スポンジを使えるよう、天然ゴムからアレルギーの原因物質を除去する技術も確立した。ただ、天然ゴムは油に弱く、油性成分が多い化粧品で使うと劣化が早い。顧客のニーズに合わせて、天然ゴムと合成ゴムの配合割合を自由に交えられる仕様にした。

坂本社長は「SDGsの先には、割高でも良い物を使うという未来がある。付加価値を付けて適正価格で提供すれば経済成長にもつながる」と話す。挑戦は始まったばかりだ。